

I 先行する神の恵み。

欠点のあるアブラハム、私達を救いに選び、愛し、ご自分のひとり子さえ与え、救い、試練を与え訓練し、成長させて下さる。

II アブラハムの信仰。：17-19

1. 最愛のものを奉げる信仰。

アブラハムにとりイサクは、長い忍耐の末(約25年)ようやく授けられたただ一人の大切な宝の子だった。それも、年老いて、100歳の時の子である為に、非常にかわいい子だった。

しかし彼は、

「あなたが愛しているひとり子イサクを…献げなさい」(創世記22：2)

との神のご命令に従った。

この行為により、彼の信仰がますます磨かれ本物であると認められた(ヤコブ2：21)。

私達には、愛する神の命令なら、自分の最も大切なものをお献げする心があるだろうか。

主よ、私達をあわれみ強めて下さい!

2. 自分の頭では理解できない中でも従う信仰。

神は、アブラハムに

「イサクにあって、あなたの子孫が起こされるからだ」(創世記21：12)

と約束しておられた。

それなのに、神の命令通りイサクを献げれば神の約束の実現はどうなるのか?

しかし、彼は、人間の頭で「矛盾、問題」と見える事が、神においてはそうではない事を確信し、自らは、ただ神の忠実なしもべとして神に従う道を選んだ。

私達の信仰生活の中でも、「なぜ? どうして? なぜ私が、こういう事をしなければならないのか? どうして神は、すぐに解決されないのか? この命令に従ったら、後はどうなるのか?」と思える時がある。

しかし、神は、最善をして下さる。その時、すべての意味が分からなくても神に信頼して従おう。

後に、主の時に、その意味が分かる。

「わたしがしていることは、今は分からなくても、後で分かるようになります」(ヨハネ13：7)

3. 神の全能の力、復活の力を信じ切る信仰。

彼は、脂汗の出るような大変な試練の中で、やけになったり、あきらめの境地でいやいや従ったのではない。

彼は、苦しみに苦しんだことだろう。そして、その末に彼は絶望ではなく、

「神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考えました」：19。

そして神に従った。

これは私達への励ましである!

苦しい試練に会う時、二つの道がある。

やけになり、あきらめ、神と人を恨み、信仰を捨てる道。

もう一つは、どんなに絶望に見える中でも、神は、私たちの命と絶望的な状況を復活させ、無から有を創造する事の出来る方(ローマ4：17)と信じて立ち上がる道である。

私達も、どんな試練の中でも全能の神を信頼できるように祈りたい。

「神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます」(I コリント10：13)

4. 「それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです」：19の意味。

アブラハムは、ただひとりの子イサクをささげた。

実際に刃物で屠ろうとした時、神のストップがかかった（創世記22：11，12）。

しかし、ある意味で彼は、本当にひとり子を神に献げたのである。

「今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことがなかった」（創世記22：12）。

神は、私達の神への信仰の心が、本物かどうか試される事がある。神に従う時、神の備え、報いがある。

5. 19節の比喩とは何か＝それは、父なる神が、大切な御自分のひとり子さえ惜しまず、いけにえとして私たちの為に与えて下さった恵み。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」ヨハネ3：16。

「私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるでしょうか」ローマ8：32。

ヨハネ8：56には、こうある＝

「あなたがたの父アブラハムは、わたしの日（主の初臨、十字架、復活）を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです」。

これは神の啓示による驚くべき信仰である。

Ⅲ 私たちの愛の神への応答。

神は、最愛のひとり子をお与えになったほどに、私たちを愛しておられる。

神は、アブラハムが、本気で、大切な息子のイサクを刃物で屠ろうとしたとき、

「その子に手を下してはならない」（創世記22：12）

とストップをかけられた。

そして、神は、一匹の雄羊を備えて下さり、アブラハムは、

「それを自分の息子の代わりに、全焼のささげ物として献げた」（創世記22：13）。

「主の山には備えがある」と言われている。（創世記22：14）。

神は、アブラハムには、大切な息子を殺さなくて済むように、雄羊を備えられた。

しかし、私たち人間の罪の償いをする神の大切なひとり子イエス様の代わりには、何も備えられず、御子イエス御自身が十字架で死なれ、私達の救いが成就した。

そこには、私たちへの父なる神の愛、御子イエスの愛が明確に現わされた。

心から感謝したい。

私たちが、苦しい試練に会う時に、この変わらない愛の神を信仰の目で見つめよう！

「私たちが神の子どもと呼ばれるために、御父がどんなにすばらしい愛を与えてくださったかを、考えなさい」

（Iヨハネ3：1）。